

配車や経路 AIにお任せ

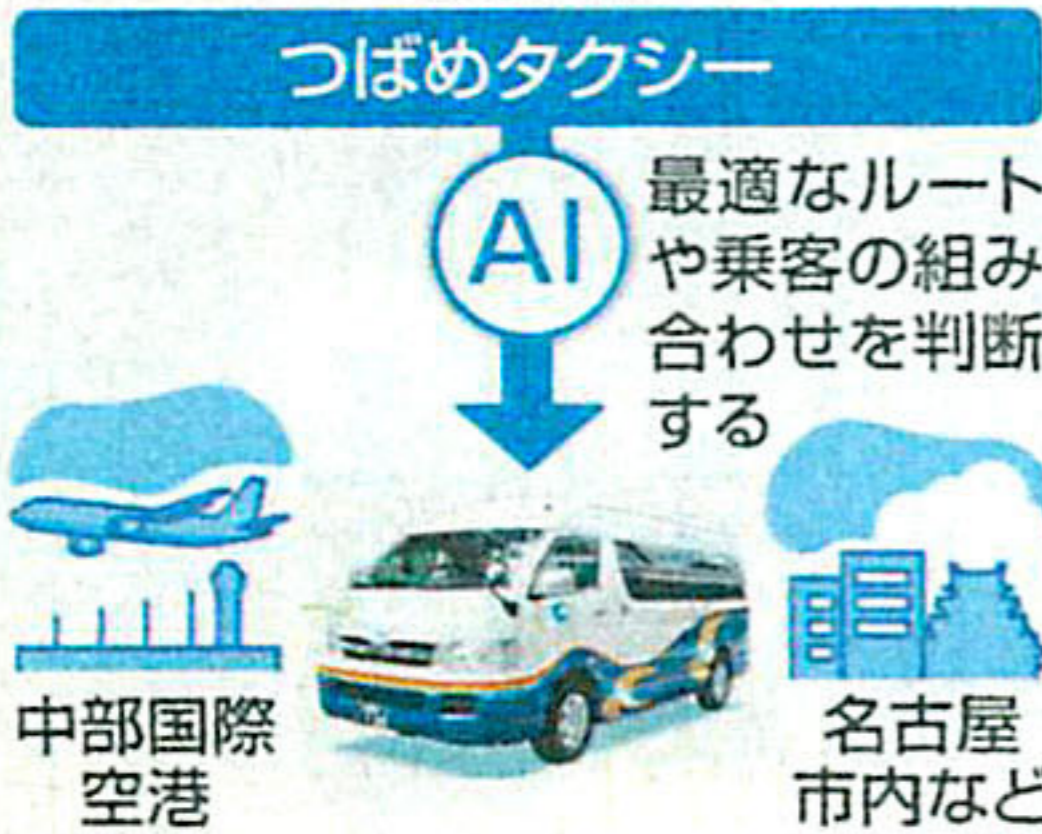
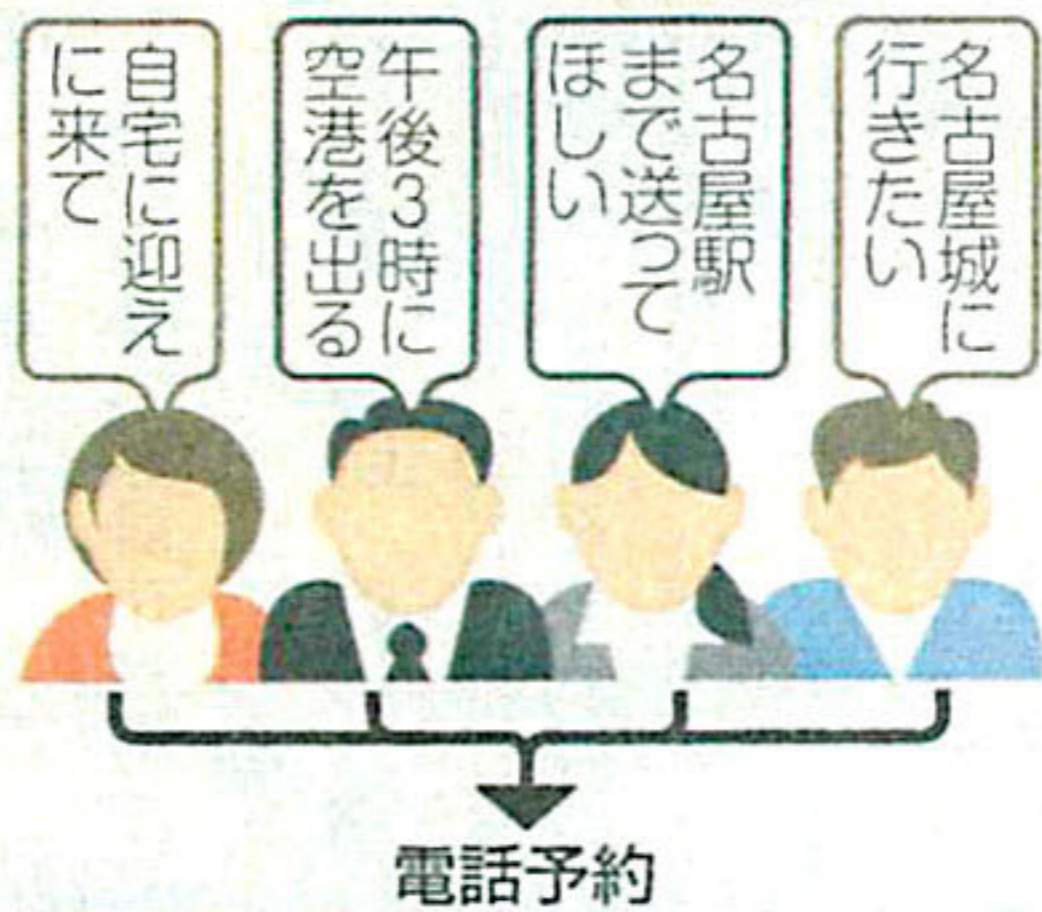
つばめ 乗り合いタクシーお得

名古屋市中心にタクシー事業を展開するつばめグループは、人工知能(AI)が最適な走行ルートや配車を判断する乗り合い型タクシーの運行を始めた。中部国際空港(愛知県常滑市)と名古屋周辺を定額料金で結ぶ。乗り合い型タクシーの配車などにAIを活用するのは全国初の試みという。

運行するのは、傘下の知多つばめタクシー(同県東海市)。最大九人まで乗れるワゴン車のタクシーを使い、複数の利用希望者の乗降地と乗車時刻をAIに入力すると、必要な台数や効率的なルートなどを判断してくれる。

運賃は片道一人で申し込むと六千〜七千円と、通常のタクシーの半額程度。中部空港発着で、運行エリアは名古屋、尾張旭、長久手、日進、豊明の各市と東郷町。二人以上の利用がなければ、運行を取りやめる。同社は中部空港が開港した二〇〇五年、乗り合いタクシーを導入。お得な値段

中部空港と名古屋周辺結ぶ



設定もあって利用者から好評だったが、ルート作成や配車を人の手で行っていたため労力がかかり、三年ほどで休止していた。しかし、つばめグループの幹部が昨年九月ごろ、AIによる相乗りタクシーをの実証実験している大学発ベンチャー「未来シェア」

(北海道函館市)に協力を打診。実際のタクシー事業者で効果を確かめようとした未来シェア側とも思惑が一致し、新しいサービスが今月一日から導入された。グループ中核のつばめ自動車(名古屋市)の天野清美社長は「人が手掛けるよりも労力を抑えられ、ルートや配車も効率的に決められる」とAIを活用するメリットを説明する。現在は利用日の二日前までの電話予約が必要だが、八月からはスマートフォンでも予約を受け付ける計画だ。問い合わせなどは、窓口フリーダイヤル(0120)758189へ。

自動化機器開発の新拠点

三菱電機名古屋製作所



完成した第二FA開発センター。名古屋市中区の三菱電機名古屋製作所で

オートメーション(名古屋市中区)で、工場を自動化するファクトリー開発するFA機器(三菱電機名古屋製作所)の開発・設計・評価がける「第二FA開発」が十二日、完成同製作所で三番目の点で、投資額は約百開発するFA機器場の生産設備とITムをつなぎ、情報処理分析を担う。新には、製造業の(モノのインターネ需要を見込み、機器希望する企業ととも

中部ードイツ間

週5往復に増便

ルフトハンザ、3月からドイツのルフトハンザ航空は、中部国際空港(愛知県常滑市)とフランクフルトを結ぶ直行便について、来年三月二十五日からの夏ダイヤで週二往復を増やし、週五往復にする。中部

発の場合、現在の火、曜日の週二便に加え日と土曜日にも運航フラックフルト便〇一五年の夏ダイヤ日運航していたが、に減少し、一六年一週二往復になってい部空港からの欧州路フィンランドのヘル便も就航している。

り場面積は七割程度に縮
正面からぶつかるラシク
小ささる。残る二割は婦人
は、もっと客足が遠のくと

鳥な
電0584(77)181
へ。(大垣支局・吉本章